

Via Latina 22



2018年5月 271号

総本部よりのお知らせ - マリア会

ローマでの総会準備委員会の会合

第35回総会の準備委員会は、1年程前から、2018年7月8日から29日の間ローマで開催される次回総会のために、必要な計画打合せと資料、データの準備作業を行って来ました。これらの会合のいくつかはSkypeで行われました。2度の会議はローマで開催され、最初の会議は去年7月、二度目は2018年5月2日と3日に行われました。



左より: Bro. McAward, SM, Bro. Roper, SM,
と Fr. Canseco, SM.

この5月の会議の間に、委員会は昨年1年間にわたって全マリア会を通して行われた意見聴取と話し合い、そして総長評議員会の報告書から導き出された文書である「討議要綱」“Instrumentum Laboris”を仕上げる作業を行いました。一旦翻訳された時点で、文書は総会の討議のために提案された一つのガイドとして総会メンバーに提示されます。更に、委員会は既に提出されている提案書を準備し、また今から総会開始までの2ヶ月の間にやらなければならない多くの通信や細かいことにも取り組んできました。

これからの数週間にあたり、総会のメンバーは代議員として課される重要な任務につき種々準備する手助けとなる多くの準備段階の文書や他の情報を受け取るようになります。更にまた、全マリア会員のために、一人ひとりが

思いと祈りのうちに総会に関わり続ける助けとなるように、他の情報も提供します。（このVia Latina 22, P. 3記事を参照）

念のための確認ですが、皆さんは第35回総会に関する情報と資料のための国際 Website : www.marianist.orgへアクセスするよう勧められています。そこにはまた、総会の中のニュースや情報が掲示されます。全共同体は総会の公式の祈りを唱える時間を設定するよう要請されています。その祈りはWebsiteに異なるフォーマットと異なる言語で用意されています。

ヨーロッパのマリアニスト発展のため、50歳以下の23名の会員が集まる

4月28日～30日、北イタリアのマッジョーレ湖の湖岸にあるパランツァのマリアニスト施設で、ヨーロッパ行政単位から50歳以下の修道者23名の会議が開催されました。3つの行政単位からの代表者たちは：スペイン18名、フランス3名、イタリア2名（1名は健康不調で欠席）でした。イタリア地区長Damiano Tonello士と総本部からAndré Fétis師が出席しました。

なぜこの集会を？



この集会はヨーロッパ・マリアニスト協議会（CEM）のイニシアティブで行われたものです。2015年の総指導者会議で奨励された各ゾーンの再構築と強化の一環として、ヨーロッパゾーンは養成と宣教の両方を含む共通のプログラムをスタートさせ、その調整をCEM議長のJean-Marie Leclerc士に委ねていました。一つの本質的な要素は会員たちの会合です。なぜなら、彼らは私たちの行政単位の最も大切な資産であり、また、私たちの協力の教化に関わるプロセスはそれが何であれ実現するのは、彼らを通してであるからです。また2017年10月の全ヨーロッパの会員のルルドでの集まりの後、50歳以下の会員たちのための特別な会合が計画されましたが、それはこの世代が現在と将来のマリアニスト生活にとって果たしている重要な役割のゆえでした。

この3日間の会合の主要目的は、参加者たちが今日の私たちの修道生活の状況について共同生活をしながら熟考することを通して、お互いに知り合うための会合と対話を持つことでした。基本的に、時間



割はヨーロッパに於ける今日のマリアニスト修道生活の経験についてグループによる意見交換と、兄弟的な交わりの生活や祈りの分野に当てられました。まとめの文書は何も作成されず、説明や発表の時間も意図的に少なくしました。場所柄、この機会を利用して、私たちがよく知っている聖カルロもその一員であるボロメオ家の本拠地である、並外れた美しさをもつマッジョーレ湖の環境へのちょっとした小観光が計画されました。勿論、自慢の“イタリアン・ジェラート”がプログラム

から除かれることはありませんでしたよ！！私たちは兄弟愛溢れる歓待に対して、パツランツァ共同体とDamiano士に心から感謝します。

参加者はこの会合での経験を大変喜び、一人ひとりにとってその体験は心豊かなものでした。この会合はヨーロッパマリアニストの連帯意識を強めるのに役立ちました。私たちの若い世代は私たちに常に強い国際協調の道筋を示しています。

カナダ地区は地域共同体となります

カナダ地区は2018年10月2日にマリア会内におけるその身分（立場）を変更します。カナダ地区の地区長評議会の要請により、総長評議員会の同意を得て、総長は総長令に署名し、これによりカナダ地区は、10月2日をもって、教会法の観点から、総長と総長評議員会に直接依存する**地域共同体**となります（生活の規則、7-129条参照）。

以下、カナダに於ける私たちの歴史の主要な日付：

- 1880：マニトバに最初のマリアニストが到着
- 1908：カナダは新しいセントルイス管区に含まれる
- 1938：マニトバから来たJoseph Provencher士によって、サン・タンセルムにマリア会設立
- 1940：フランスからFrancois Jacq師が到着
- 1964：カナダ管区の創立
- 1994：カナダ管区は**地区**となる
- 2018：2018年10月2日、カナダ地区が**地域共同体**となる





願書にサインする地区長評議会のメンバー
2018年4月2日 レヴィ共同体の聖堂にて

2003年に、カナダ地区はハイチにマリアニストの拠点を創設しました。その10年後、2013年に、ある不幸な出来事と2名のブラザーが殺害されるという痛ましい損失（Yxnold Chevalier, SM と Richard Joyal, SM）により、私たちはハイチを去りました。8名のハイチ人ブラザーが私たちと共に残り、マリア会の他の5つの行政単位の活性化を助けするために派遣されました。

現在、このような状態のカナダ地区は制度化した事業、使徒的事業、あるいは他の事業への関わりは何もありません。会員は16名だけで、その内4名は病院に入院中、平均年齢は83歳です。2つの共同体、サン・タン

リとレヴィが閉鎖されたばかりです。教会法上の身分の変化は会員たちの日常生活に影響はありませんが、彼らの状況にもっと良く適応した活気づけとリーダーシップを強めるようになってくれるでしょう。つまり、共同体になることで、彼らは生活の規則や教会法による管区や地区として要求される組織の“重荷”がもはや必要でなくなります。

案内：「総会のための祈りのネットワーク」に参加してください

マリア会員は7月に開催される総会について良く認識しています。実際、多くの会員がこの重要な行事の準備を手伝ってきました。今一度、私たちは皆さんの兄弟的手助けと、マリアニスト家族全体の助けをお願いします！今回は資料や情報のためではなく、それよりも、私たちは**皆さんの祈りをお願いします**。

私たちは、聖霊、私たちの母マリア、そして福者である私たちの創立者たちが総会の場と総会出席者と共にいてくださることを確信します。皆さんが、個人としても共同体としても、第35回総会の討議と決定のためにこれらの仲介者に祈ってくださるようお願いいたします。総会期間中、毎日、私たちは“世界規模”の祈りのネットワークを持ちたいと望んでいます。このような訳で、私たちは同じ案内をマリアニスト家族の他の枝の兄弟姉妹にも送付しています。

登録手順は簡単です。皆さんがすべき事は下記のリンクで日付を選ぶだけです。私たちがリストのバランスを取れるよう、日付を“flexible”とする選択もできます。そうするとすべての日付がカバーされます。あるいは、勿論あなた方が望むなら、この日しかできないと指定することもできます。最終リストの発表まで時間を確保できるよう、2018年6月20日までに登録をお願いします。このすべての情報は私たちのWebsite: www.marianist.org の総会のページに掲載されています。



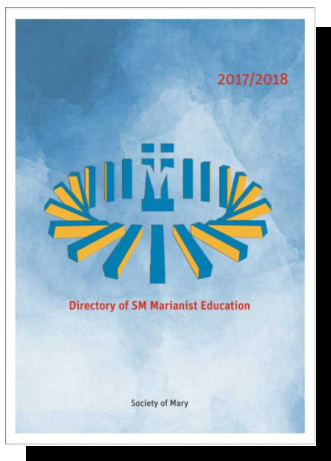
皆さんの兄弟的サポートとお祈りに感謝します。主が絶えずマリア会を祝福し、また私たちの母マリアがいつも私たちを導いてくださいますように！
第35回総会のための準備委員会

祈りの日を登録するリンク： <https://form.jotformeu.com/81202222332337>

2018年 マリア会教育状況の統計

“教育においてはまず私たちが気を配ることの一つは、信仰を正しく説明し養成することである。それには周到な準備と正しい知識と方法論への適応が要求される。信仰教育には、いわゆる宗教の授業が精神の発達と宣教への奉仕に生徒を誘導するプログラムと実地体験によって補足されなければならない。”（「生活の規則」5-13条）

2018年 マリア会教育要覧の電子版が全教育部補佐あて送付されました。この電子版のコピーは私たちのwebsiteからダウンロード出来ます：<http://marianist.org/site.php?menuaccess=254>。情報として以下に、この資料から基本統計を提供し皆さんと共有します。

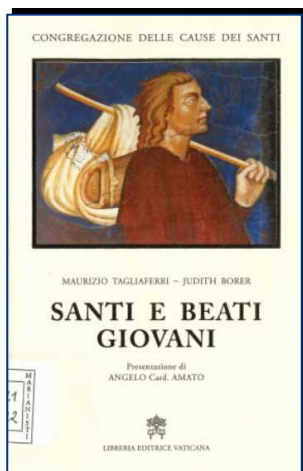


| 行政単位 | 学校数 | 生徒数 | 教員数 | マリア会 | | |
|--------------|-----|----------------|--------------|------------|--------------|------------|
| | | | | 教員数 | 管理職 | 修道者数 |
| アルゼンチン | 4 | 6317 | 698 | 7 | 19 | 9 |
| チリ | 6 | 5975 | 254 | 3 | 42 | 15 |
| コロンビア・エクアドル | 3 | 3921 | 212 | 8 | 18 | 13 |
| 東アフリカ | 7 | 4482 | 227 | 20 | 52 | 34 |
| スペイン | 17 | 22067 | 1493 | 27 | 144 | 67 |
| フランス | 10 | 11603 | 784 | 9 | 494 | 25 |
| コートジボワール | 2 | 2665 | 110 | 9 | 31 | 11 |
| イタリア | 1 | 605 | 65 | 0 | 4 | 6 |
| 日本 | 4 | 6593 | 378 | 0 | 76 | 10 |
| 韓国 | 1 | 667 | 50 | 2 | 7 | 4 |
| メリバ | 3 | 4570 | 240 | 29 | 28 | 31 |
| オーストリア | 3 | 5178 | 247 | 1 | 25 | 8 |
| ペルー | 4 | 5420 | 452 | 2 | 78 | 7 |
| トーゴ | 3 | 1173 | 107 | 19 | 20 | 22 |
| 米国（大学以外） | 18 | 11234 | 910 | 25 | 239 | 34 |
| 米国（大学） | 3 | 16950 | 1213 | 55 | 519 | 75 |
| 米国（合計） | 21 | 28184 | 2123 | 80 | 758 | 109 |
| インド | 8 | 3156 | 111 | 21 | 24 | 26 |
| SM 総計 | | 112,576 | 7,551 | 237 | 1,820 | 397 |

註:

1. 私たちの学校総数は97校です。
2. 15校は男子生徒のみ、1校は女子生徒のみです。
3. 80校が男女共学です。
4. 38校では幼児教育も行われています。
5. 初等教育が行われているのは51校です。
6. 中等教育が行われているのは85校です。
7. 3校で技術養成がなされています。
8. 大学数は3校です。
9. 25校が寄宿制度を採用しています。
10. 2017年～2018年に開設したのは3校です。

司教教会会議 (2018年10月) テーマ：若者、信仰、召命の識別 —この会議のためにモデルとして選ばれた若いマリアニストたち—



最近、バチカン出版局は*Santi e beati giovani* (若い聖人と福者)という題名の本を出版しました。これは列聖省の著作です。(著者はMaurizio TagliaferriとJudith Borerであり、列聖省長官のAngelo Amato枢機卿の説明が含まれています：バチカン市発行：2017、83ページ)。

列聖省は聖者の列に加えられた大勢の若い殉教者、福者、そして聖人を彼らに示すことによって、若者の福音化に協力したいと望んでいます。この聖者たちは全ての大陸や国々の出身で、社会的文化的な違いがあり、司祭、一般信徒、修道者です。この素晴らしいキリストの証し人の集団の中に、スペインの宗教迫害で死んだ殉教者である4名のマリアニスト修道者がいます。

P. 49~50にSabino Ayastuy(+25才)、Joaquín Ochoa(+26才)、そして Florencio Arnaiz(+27才)がマドリッドで、またP. 52にはJesus Hita(+27才)

がCiudad Realで殉教したと紹介されています。

聖アンブロジオは言っています：《どの年齢もキリストのために準備ができています》；聖性と同様、殉教には年齢は関係ありません。すなわち、聖なる幼子殉教者の時代から現在に至るまで、殉教者であるか証聖者であるかを問わず、多くの若い聖人がいます：聖Tarcisius (AD 257), 聖Agnes, 聖Louis de Gonzague, 聖Dominique Savio, 聖Maria Goretti (全てイタリア人)、聖Pierre Calungsod (フィリピン人)、聖Joseph Sánchez Río (メキシコ人)等です。既に列福された若い4名の殉教者に加えて、マリアニスト家族にはもう一人の列福候補者 (若い学生Faustino) がいて、その聖性のため彼の列福が申請されています。

メールアドレス変更

- Bro. Ralph Neumann (US):
reneumann35@gmail.com
- Fr. José Ramón Sebastián de Erice (ES):
jramonerice@gmail.com



最近の総本部通信

- 訃報：#11 - 13
- 5月9～10日：マリア会教育要覧が教育局長Maximin Magnan士から全教育補佐に送付
- 5月8日：連絡#3、総会準備委員会から全責任者宛て

総本部日程

- 5月13～20日：Maximin Magnan士はスペインで開催のCEME (ヨーロッパマリアニスト教育委員会) 会議に出席
- 5月26～6月1日：André Fétis師スイスのシオンで開催のCEM (ヨーロッパマリアニスト会議) 会合に出席

